

2021年7月18日 午前礼拝 説教:大木英雄牧師
「自分の栄光を現そうとした罪」

使徒 4:32~5:11

- 4:32** 信じた者の群れは、心と意思を一つにして、だれひとりその持ち物を自分のものと言わず、すべてを共有にしていた。
- 4:33** 使徒たちは、主イエスの復活を非常に力強くあかしし、大きな恵みとそのすべての者の上にあった。
- 4:34** 彼らの中には、ひとりも乏しい者がなかった。地所や家を持っている者は、それを売り、代金を携えて来て、
- 4:35** 使徒たちの足もとに置き、その金は必要に従っておのおのに分け与えられたからである。
- 4:36** キプロス生まれのレビ人で、使徒たちによってバルナバ（訳すと、慰めの子）と呼ばれていたヨセフも、
- 4:37** 畑を持っていたので、それを売り、その代金を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。

第5章

- 5:1** ところが、アナニヤという人は、妻のサツピラとともにその持ち物を売り、
- 5:2** 妻も承知のうえで、その代金の一部を残しておき、ある部分を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。
- 5:3** そこで、ペテロがこう言った。「アナニヤ。どうしてあなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、地所の代金の一部を自分のために残しておいたのか。」
- 5:4** それはもともとあなたのものであり、売ってからもあなたの自由になったのではないか。なぜこのようなことをたくらんだのか。あなたは人を欺いたのではなく、神を欺いたのだ。」
- 5:5** アナニヤはこのことばを聞くと、倒れて息が絶えた。そして、これを聞いたすべての人に、非常な恐れが生じた。
- 5:6** 青年たちは立って、彼を包み、運び出して葬った。
- 5:7** 三時間ほどたって、彼の妻はこの出来事を知らずにはいつて来た。
- 5:8** ペテロは彼女にこう言った。「あなたがたは地所をこの値段で売ったのですか。私に言いなさい。」彼女は「はい。その値段です。」と言った。
- 5:9** そこで、ペテロは彼女に言った。「どうしてあなたがたは心を合わせて、主の御霊を試みたのですか。見なさい、あなたの夫を葬った者たちが、戸口に来ていて、あなたをも運び出します。」
- 5:10** すると彼女は、たちまちペテロの足もとに倒れ、息が絶えた。はいつて来た青年たちは、彼女が死んだのを見て、運び出し、夫のそばに葬った。
- 5:11** そして、教会全体と、このことを聞いたすべての人たちとに、非常な恐れが生じた。

使徒 4:32, 信じた者の群れは、心と思いを一つにして、だれひとりその持ち物を自分のものと言わず、すべてを共有にしていた。

全てのクリスチャンが

ピリピ 4:19, また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてください。

葛西教会では高田信子姉はイエス様から小切手をいただいていると言っています。イエス様から小切手をいただくほど確かなことはありません。

エルサレム教会の信仰は赤ちゃんがお母さんを信じるような信仰です。衣、食、住。食事はお母さんからおっぱいをもらい、おむつを替えてもらいます。着物もすべて買ってくれます。もちろん住居もあります。お風呂にも入れてもらい、お母さんがいれば何の不自由もありません。

使徒 4:34, 彼らの中には、ひとりも乏しい者がなかった。地所や家を持っている者は、それを売り、代金を携えて来て、
使徒 4:35, 使徒たちの足もとに置き、その金は必要に従っておのおのに分け与えられたからである。

彼らの中には、一人も乏しいものはいませんでした。地所や家を持っている人はそれを売って代金をもってきて、使徒たちの足元に置いた。すべてのクリスチャンが

ピリピ 4:19, また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてください。

皆ピリピ 4:19 のような信仰を持っていた。自分の地所や家を売って貧しい人の必要を満たしても、お金が必要になればイエス様が必要を満たしてくださいという信仰です。

エペソ 5:18, また、酒に酔ってははいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。

御霊に満たされていると、愛に満たされているので、少しも惜しいとは思わないのです。御霊に満たされるということはなんてすごいのでしょうか。御霊に満たされると伝道する力が与えられるだけではなく、経済的にも満たされるのです。

今はコロナで「飲食店」はもうからないので閉店するところも増えています。御霊に満たされていると、イエス様が経済的にも満たしてくださいなのです。

使徒 4:36, キプロス生まれのレビ人で、使徒たちによってバルナバ（訳すと、慰めの子）と呼ばれていたヨセフも、

使徒 4:37, 畑を持っていたので、それを売り、その代金を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。

バルナバは畑を売って、その代金を使徒たちの足元に置いた。みんなはバルナバの信仰をほめたのです。

使徒 5:1, ところが、アナニヤという人は、妻のサツピラとともにその持ち物を売り、使徒 5:2, 妻も承知のうで、その代金の一部を残しておき、ある部分を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。

使徒 5:3, そこで、ペテロがこう言った。「アナニヤ。どうしてあなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、地所の代金の一部を自分のために残しておいたのか。

使徒 5:4, それはもともとあなたのものであり、売ってからもあなたの自由になったのではないか。なぜこのようなことをたくらんだのか。あなたは人を欺いたのではなく、神を欺いたのだ。」

ここでアナニヤとサツピラのしたことについて何が問題だったのでしょうか。アナニヤとサツピラの動機が問題だったのです。アナニヤとサツピラはバルナバが畑を売ってその代金を使徒たちの足元に置いたので、みんなはバルナバの信仰をほめたのです。アナニヤとサツピラもみんなから褒められたかったのです。

(1) バルナバは神様に褒めてほしかった。アナニヤとサツピラは人に褒めてほしかった。

マタイ 25:14, 天の御国は、しもべたちを呼んで、自分の財産を預け、旅に出て行く人のようです。

マタイ 25:15, 彼は、おのおのその能力に応じて、ひとりには五タラント、ひとりには二タラント、もうひとりには一タラントを渡し、それから旅に出かけた。

マタイ 25:19, さて、よほどたってから、しもべたちの主人が帰って来て、彼らと清算をした。

マタイ 25:20, すると、五タラント預かった者が来て、もう五タラント差し出して言った。『ご主人さま。私に五タラント預けてくださいましたが、ご覧ください。私はさらに五タラントもうけました。』

マタイ 25:21, その主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんの物を任せよう。主人の喜びとともに喜んでくれ。』

クリスチャンは一人一人賜物が与えられています。そして清算の時があります。そのとき一人一人の忠実さが清算されます。その時イエス様から「よくやった」とほめてもらえるか、どんなに人から褒めてもらっても、イエス様から褒めてもらえなかったら、何にもなりません。バルナバはイエス様から褒めてほしかったのです。しかしアナニヤとサツピラは人に褒めてほしかったのです。私はイエス様に褒めてほしくて伝道しているのか、考えさせられます。

(2) アナニヤとサツピラは神様を利用して人から褒められようとしたのです。

献金は神様にささげる物ですが、アナニヤとサツピラは献金を通して人から褒められようとしたのです。私は滝山教会にいた時、年賀状に今年は13人バプテスマを受けましたと書きました。これはほかの牧師からも褒めてほしかったのです。アナニヤとサツピラの罪は私たちの罪でもあります。ここで教えられることは献金の動機です。イエス様に褒められようとして献金すればよいのです。

マラキ書 3:8, 人は神のものを盗むことができようか。ところが、あなたがたはわたしのものを盗んでいる。しかも、あなたがたは言う。『どのようにして、私たちはあなたのものを盗んだのでしょうか。』それは、十分の一と奉納物によってである。

マラキ書 3:9, あなたがたはのろいを受けている。あなたがたは、わたしのものを盗んでいる。この民全体が盗んでいる。

マラキ書 3:10, 十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。…万軍の主は仰せられる。…わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。

マラキ書 3:11, わたしはあなたがたのために、いなごをしかって、あなたがたの土地の産物を滅ぼさないようにし、畑のぶどうの木が不作とならないようにする。…万軍の主は仰せられる。…

十一献金のことが教えられています。お給料が10万円の人は1万円ささげればよいのです。聖書は神様を試してはいけないと教えています。

出エジプト記 17:7, それで、彼はその所をマサ、またはメリバと名づけた。それは、イスラエル人が争ったからであり、また彼らが、「主は私たちの中におられるのか、おられないのか。」と言って、主を試みたからである。

イスラエルの民は水がなかった時、神様がおられるならどうして私たちに水を与えないのか。このように神様を試したのです。しかし十一献金の時だけは、十一献金を捧げたら神様が祝福するかどうか試してみよと言っておられるのです。

調布教会で社長夫人が救われてラージャス先生が十一献金を教えたらその夫人は十一献金をささげるようになりました。しばらくしてオイルショックになり色々な会社が倒産しましたが、うちの会社は倒産しない、どうしてかと社長が奥さんに聞いたら奥様が、あなたに内緒で十一献金をしていたと社長に謝ったそうです、するとその社長はぜひ続けてくれと言ったそうです。

十一献金をすれば神様が祝福してくださいます。

【説教:大木英雄牧師】